

熊本市歯科医師会会誌

第 54 号



昭和61年熊本市歯科医師会新年懇親パーティー

表紙の写真 “春の植木市”

市広報委員 寺脇 博

目 次

学術講演会「コンポジットレジンの修復法」	池上 富雄	2
昭和61年熊本市歯科医師会新年懇親パーティー	厚生委員会	4
61年の幕あけに際して	岩村 泰行	11
社保症例研究	社保委員会	15
本日休診「さかなとり」	鈴木 勝志	17
勉強部屋「初診時、問診から考える」	藤波 剛	20
小学校におけるブラッシング指導	学校歯科委員会	24
税務説明会	医療管理委員会	25
新樹会総会	山村 定信	26
新入会員紹介		27
会務報告		29
編集後記		31

学 術 講 演 会

「コンポジットレジンの修復法」

学 術 池 上 富 雄

去る10月23日(水)、午後7時より県歯会館3階ホールにて「コンポジット・レジンの修復法」(光重合型レジン、臼歯部用レジンの問題点)と題して、市学術委員会主催による講演会が行われた。講師は、九大歯学部第1保存学教室助教授山本泰先生で、約2時間にわたり、豊富なスライドを駆使して、解り易く、有益な御講演をいただいた。今回のテーマは、会員が毎日の臨床で行っている身近なものであっただけに、会員の関心も高かったようで、広い会場がほぼ満席となる盛況であった。講演内容は、コンポジット・レジン充填学の総まとめとも言える広範なものであったが、随所に明日からの臨床にも役立ちそうな臨床的なヒントがあり、参考になることが多かった。特に酸処理(エナメル・エッチング)の問題では、完全な防湿、隔離と下記の様な正確な時間管理が重要である事を強調された。

防湿→酸処理(60秒)→水洗(20秒)→乾燥(30秒)。以下、要点を箇状書きにすると下記の如くである。

1. 充填物の保持は、エナメル質の酸処理によるTag効果を期待し、デンティンには頼らない。→エナメル小柱を横断する様にエッチング面を形成し、デンティンは保護する。
2. 特に5級窩洞に於ては、切縁側にエッチ



ング面を大きく付与する必要がある。

3. 現在市販中のコンポジット・レジンには、フィラーの混入量及び大きさにより、種々のものがあるが、いずれも一長一短で、オールマイティなものはないので、適応症を選択して使い分ける必要がある。
4. 臼歯部用のレジンには、まだ解決すべき種々の問題があり、今後の改良が期待される。
5. 光重合型レジンが、最近話題になっているが、適応症を考えて使う必要があり、まだ化学重合型にとってかわるという段階ではない。操作時間、経済性の面ではむしろ劣っている。
6. 流動性の良い接着剤を辺縁封鎖の為にシーラントとして用い、耐磨耗性の良い充填剤と併用するというやり方は、合理的であり、臨床的価値も高いと思われるが、デー

タの蓄積が必要である。

最後に光重合型レジンに今、切り替える必要があるか？という具体的な質問が出たが、余り明確な答えは得られなかった様である。これは、この分野の研究がまだ発展段階であり、完成されたものではないという学問的な面と、今後の技術革新により、製品の改良と生産コストの低下が期待されるという実利的な面が期待出来る為と思われた。



昭和61年 熊本市歯科医師会 新年懇親パーティー

“歌う川崎執行部勢揃い”

昭和61年熊本市歯科医師会新年懇親パーティーは、1月18日(土)午後6時よりニュースカイホテル“玉樹の間”において開催されました。雨降りの生憎の天候の中を特別招待者、会員、同伴者 合計140名の参加者を得て、有吉厚生委員長の司会で始められ、川崎会長の新年の挨拶と関口恵造候補への選挙協力の要請に続き、新企画として永年、市歯科医師会の発展に寄与された功労会員の表彰があり、

御出席の6人の先生方に川崎会長より、1人1人に感謝状と記念品が授与され、代表して木庭了先生（東部工）が謝辞を述べられ、会員の奥様による祝舞の御披露、新入会員の紹介、大関先生の乾杯の音頭で親睦の宴となりました。

しばし料理・お酒に舌づつみの後、玉名の会議よりはせ参じられた宇治寿康県歯会長の御来賓の御挨拶をいただき宴は最高潮にのぼり、「昭和歌謡詩」と銘打って、川崎会長を筆頭に市執行部先生のしこうをこらした歌合戦に場内はヤンヤのかっさい、御出席の皆様より“今年はよかった。”と評判をとりました。御婦人方のコーラス、お楽しみ抽選会は、金賞 “ハレー慧星用の大天体望遠鏡”、電気ストーブ、ディナー券（2万円）等 etc。

一喜一憂に会場に懇親の花が咲きみだれ、



川崎会長のご挨拶



宇治県歯科医師会会長のご来賓の挨拶

またたく間に時間が過ぎ、最後の締めは、山室副会長の大演説と万歳三唱で終宴となりました。

今年も（は？）いい年であります様に！！

厚生委員会 吉 永 誠一郎



功労者の表彰
左より

江藤重行（南部）
片岡 幸（川尻）
徳永赴夫（北部Ⅱ）
岩本義人（北部Ⅱ）
松本次男（東部Ⅱ）
木庭 了（東部Ⅰ）



今年の医療界は？ とは言わずにこの日ばかりは楽しく



祝舞
緒方進先生の奥様

歌う川崎執行部勢揃い



鈴木専務
 “憧れのハワイ航路”
 (トップバッター、帽子と制服—自作)



山室副会長
 “イヨマンテの夜”
 (徹夜で衣裳作り、仮装大賞)



宇都宮常務
 “あざみの歌”
 (しみじみと火の国男児が)



関理事
 “高原列車は行く”
 (歌上手、まったく知らない曲で歌わせました)



伊東理事
 “ここに幸あり、
 昔を思い出して楽しかノ



田島理事
 “喜びも悲しみも幾年月、
 燈台守を歌う



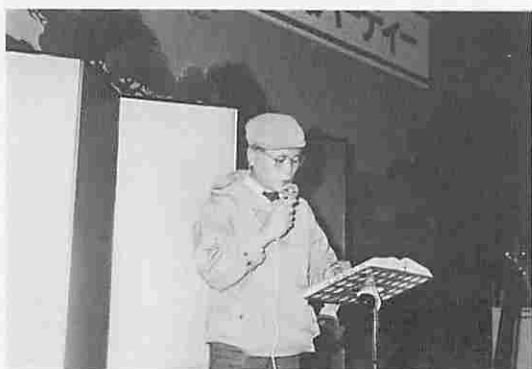
杉野理事
 “僕は泣いちっち、
 1週間前より仕事がつきませんでした。
 ご苦労様です。



菅原理事
 “高校三年生、
 昔のバンカラを胸にノ 周りの学生さん注目



牧野理事
 “兄弟仁義”
 着流してサラリと歌います



柿原理事
 “ボーガツル賛歌”
 (山男の心意気)



トリ、川崎会長
 “恋の予感”
 赤いセーターでデュエット



片岡幸夫妻のダンス!!
(すてきです)



おいしかですなあ!!



御婦人方・コーラス



パーティー目玉
ハレー彗星用 大天体望遠鏡。
宇治道孝先生の奥様に大当り



何やら二人で……



本年も歌い始め
渡辺・師井・斉藤・友枝



よそ行き顔で記念撮影



大演説～万歳三唱

61年の幕あけに際して

岩村泰行

第一章 雨の阿蘇路を往く

数日来好天に恵まれず青空を仰ぐ事の少ないこの頃であったが学会当日もあいにくの小雨模様、宇治道孝先生の愛車に他の二人の先生と共に小雨降る中を出発、私の診療所から東へ行く。小山・戸島一带はかつて中学時代終戦前勤労奉仕で唐芋植えやら麦刈りをやった事もあり当時とはずい分変わったものですよと話し乍らやがて空港を右手に見ながら西原を経て57号線立野に出る。雨で少ないとは云っても、やはり車の列、やがて阿蘇の山々が目に入る。天気が良ければ途中シャッターを切る積りでいたが思うにまかせず、小雨に煙ぶる阿蘇も又趣を異にして良いものかなと思ひ乍らもやはり画にならない、ミルクの中に溶け込んで僅かにその頂きを薄墨を刷いた様に見えるのみ。一の宮を過ぎ大観峰を越えたと一転して一望の草原地帯、小雨に煙ぶる起伏した丘の間を通り抜ける。薄若緑の中に放牧された赤牛が点々と巷を外に草をはんでいる。

ふと牛がうらやましく感ぜられる。黒い松の影が車窓の外に近づいては消えていく。

「赤牛の遠くにありて尾花かな」

「銀色にぬれて波打つ尾花かな」

やがて久重の山々が近づき山の頂き近くはやや紅葉、黄葉を散見、秋深くなれば見事であろうと察せられる。路端の崖に野菊や可憐な花を見る。



「秋雨や只黄色くて野菊かな」

「淋しくも一人佇む萩の花」

久重を過ぎやがて別府湾を見る。時々水平線の定かでない海上に薄く小さい船影が往き交う。カーブを曲がると海岸の街、山の中腹あたりまで湯煙りで一杯、流石湯の町別府である。いたるところ湯煙が立ちこめている。

「湯煙の遠くにありて秋の海」

学会会場別府に着く頃には車の「ワイパー」もその「タクト」を振るのを止めた。

第二章 学会にて

車を第二駐車場に入れて宇治道孝先生帰って来られる。丁度昼頃であったので同乗の関末喜先生、赤星茂子先生と食事を共にし、宇

治・関・赤星先生共に「ボーリング大会」出場との事、御健闘を祈る。

午前中の「厚生行政の現状と将来展望」橋本龍太郎氏の特別講演は残念ながら聴く事が出来なかった。しかしながら、「21世紀への潮流」歯科医療のゆくえ、国民の医療担当者として今後の我が国の福祉行政、医療行政が、どの様に進展されるものか、国家サイドからみた展望は私共の重大な関心事でありましょう。メイン会場の大ホールに入る。既に午後の初め、村井俊郎先生の講演が始まっており、会場は多目的ホールのせいか平面で一脚づつ椅子を並べた座席でやや聴きづらい感じがした。横を見ると、前会長の西山昴先生が熱心に聞いておられる。経営管理は勿論、患者管理、人事管理、物品管理等、個々の医術の向上と共に管理の時代であろう。

会場を出てロビーで一呼吸、窓外に庭の松越しに眼下に別府湾を見る。続いて「今後の歯科医療に対し行政の立場から」小児歯科医療・保険歯科医療の技術評価。技術評価の問題は国家財源と関係しているとはいえ我々サイドから見ると従来からいわれながらその評価が低くおさえられていることは、誠に残念であり今後更に医術の向上と共にそれに似合った評価をして貰い、特に一般医療と異なり歯科医療の特性を充分考慮に入れた評価がなされるべきであろうと考える。国民のニーズに応え国民が納得し、(歯科医療に対する認識及び意識の向上を計り)私共が安心して(医療訴訟のなき、経営の安定、老後の保障、etc…)行える医療行政の確立を早くやってもらいたいものである。器材展の方をのぞいてみる会場

が分散してあっちへ行ったりこっちへ来たり、可成り新器材がその発展振りを示している。然し乍ら高度成長時代であれば或る程度の投資も可能であったが現状のような低迷時代に入ると設備の改善、新器材の導入も経営上多少考えざるを得ないのではないか。又、高度の医療を望むべくそれに応じた器材を入れても一時使用では何の価値も生じない。一回り眺めて只認識を新たにするのみ、(器材関係には申し訳ございませんが)。然し乍ら医療の発展は機材と共にあると云っても過言ではないと思います。益々の発展を希望致します。

場外は既に暗く、遠くに燈台の灯が点滅、同窓会会場へと急ぐ。あちこちに「イヤー!」「オー!」と久し振りの再会に笑顔で対応、学生時代お世話になった先輩にも久し振りで会い、学生時代の話に花が咲く。

第三章 福岡にて

大分の学会も終り、翌朝早く朝食をすませ小倉經由新幹線で福岡へ、これは毎年行われている福岡臨床集談会出席のためである。福岡臨床集談会は戦後間もなく始められ、私共熊本臨床集談会と共におそらく最も古いスタディーグループの一つではあるまいか。今、共にと書きましたが、実は、福岡臨床集談会が始まって間もなく当時の講師に熊本へ足を伸ばして貰ってこちらも始めることとなり、言わせて頂けば兄弟スタディーグループと言ったところですよ。世話人の博多ステーションビルの山本治先生も永らく御世話頂いており再三お電話を頂いていた次第です。

丁度駅裏の新しいホテルである「ホテルセ

ントラーザ」に着いて間もなく始められ、西日本新聞論説委員長の益田憲吉氏の当面の政治経済、社会情勢について例の博多弁丸出しの熱気にあふれる面白い話、米国の植民地化している日本は戦後40年本当の独立国家とならねばならない。力と力のバランスの上に立った平和、寄らば大樹の影的な日本の平和、真の平和な独立国日本とは？

続いて国立予防衛生研究所ウイルス室長の北村敬先生の「エイズとその原因ウイルス」エイズ後天性免疫欠損症候群は1981年米国で発見され予後はきわめて不良で、3年以内に死亡する恐ろしい疾患、「オーこわい!!」。私共の診療室でも最近B型肝炎のことがしきりに云われていますが、今新たにエイズなる得体の知れない妙な病気が流行し始め、世の中が発展して来ると疾病の方も又新しいものが出現して来る、困った事です。お互い呉々も用心しましょう。

次いで昭和大学歯学部歯周治療学教授長谷川絃司先生の「歯周治療に対する最近の考え方」と題してのお話し、これは先生方も御承知の如く社保における歯周病改正に伴って行われたものでメンテナンスの重要性を強調されたものであるが、どうもあまりにも急変(?)したため国民がついて来てくれるか甚だ疑問を感じるのは私だけでしょうか。私共日常の診療で歯周病はすべての治療に先行すべき歯内療法とともに基礎的重要な処置であり、又如何なる高度な修復機能をほどこしても、之が徹底されねば元の本阿弥とでも申し上げましょうか。つまりは、「インレー・クラウン」から総義歯への途をたどることになりかねない

のは火を見るより明らかです。もっと歯周病に対して私共も腰をすえて考え直す必要があらうかと思います。後述の様に国民に対する認識の高揚を計らなければ、つまりは私共のみの一人相撲となり国民の批判を買う恐れがある様な気が致します。

以上で講演会が終り懇親会に移り、世話人代表の山本先生、各講師来賓の御挨拶があり小生も御指名を受け、謝辞を述べて諸先生と懇談して、おそい列車で我が家へ帰り着いた次第です。

第四章 路上にて

街路樹の銀杏もやや黄いばみはじめた或る日、路上で知人とバッタリ出会い諸々の話をするうちに、彼曰く。「先生、歯の修繕にはたいがな金がかかるでしょうナ」若い彼はこともなげにそうおっしゃる。「ソーナー」返す言葉もなく只そう答えた。はたして反論する価値があるかどうか？ 彼はたまたま口にして言ったまでではないか、又「歯ぐらい」と云う。云い変えれば、これは一般国民の歯科に対する認識の程を代弁しているのではなからうか。仮に一部の者であろうとも、大方の国民は大なり小なりこの程度の感覚しか持ち合せていないのではなからうか。

「舞い落ちる枯葉淋しく街の中」

第五章 むすび

いやそんなことはない、以前に比して充分と認識は高まっているヨ、といわれるかもしれないが欧米諸国と比較して誠に心淋しい思いがします。(勿論国民性や生活習慣の違いも

ありましょう) 福祉といい皆保険といい、私共の医療は益々発展するでしょう。然し真の福祉とは? 真の医療とは? 我々のみが先行して国民がこれについて行かなければ真の医療も絵に書いた餅に過ぎない様な気がします。

「そこのけそこのけお馬が通る」であっては何ります。私共は国民の理解と協力のもとに更に「コミュニケーション」を深め、21世紀の歯科医療に向って頑張ってゆかねばなりません。

(若者たち、多い無防備、将来が心配)

(歯無しにならない話)

(朝日新聞科学部より)

日本の歯科産業が将来、自動車産業を追い越すという、かなり信頼できる推定がある。その歯科産業の中心になるのは「入れ歯」である。高齢社会に突入、老人が増える「歯無し」になる、入れ歯は高価——というのが繁

栄論の根拠だ。……中略…それなのにこの層は、とんと無防備だ。体力に自信があるからか、無知も一役買っているのか、健康への関心が一般に低い、歯への興味も、歯垢の除去がどう大切かの知識も持とうとしない人が大部分だ。将来、歯槽膿漏にもつながる歯肉炎が、この層に多発しているという。こんなことまで考えると、どうも将来、歯科産業を支えそう——と思えてくるのだ。若者よ、歯を磨こう。

歯科医師の増加、医療費の抑制、税務、等等。益々厳しい時代となりましょう。お互いに「アレがオレが」でなく自己研修を深めお互いに助け合って頑張って参りましょう。

「元旦や旭日に光る阿蘇の峰々」

1986. 1

症 例 研 究

熊本市社保委員会

歯肉息肉除去手術 1 歯につき 110 点

- (1) 歯冠崩壊が著しく歯頸部におよんでいる場合は、歯肉息肉が、う窩内に浸入していることが多い。このような症例では、歯内療法の前に歯肉息肉を除去しておく。
- (2) 乳歯の歯肉息肉はよくみられるが、歯内療法の前処置として息肉除去を行った場合に算定する。
- (3) 歯肉息肉除去は、歯内療法を行うに当り、貼薬療法時の仮封剤の維持を図るのに、歯牙のう窩を覆った歯肉を除去した時に算定する。
- (4) 病名は「pul 歯肉息肉」「per 歯肉息肉」とし

レセプトは処置及び手術のその他の欄に「歯肉息肉除去術 110×回数」と記載する。

◎算定不可の場合

- (1) 即処、或いは歯冠形成時の歯肉息肉除去
- (2) 継続歯脱落再装着時の歯肉息肉除去
- (3) C病名(単治、KP、充填)における歯肉息肉除去
- (4) 歯冠修復及び欠損補綴物の作製に係る一連の診療行為での歯肉息肉除去。

以上の費用は、それぞれの所定点数に含まれる。又、比較的う窩の小さな場合は pul、per の処置に含まれるので算定できない。

主訴 E pul 歯肉息肉
 所見 E 自発痛および咬合時疼痛の訴え
E う窩および歯肉息肉を認める

	月日	部 位	療 法 処 置	点 数	一部負担 金徴収額
1 日目	12/3		初 診	160	
	/		C A T (+)	/	
	/		E P T <u>E</u> (+)	40	
	/	<u>E</u>	X-ray 1 F	48	
	/		XyLOスプレー+2%キシロカインCt1.8ml伝麻(7+35)	42	
	/		R D (ラバーダム)	10	
	/		歯肉息肉除去	110	
2 日目	/		生 切	270	
	12/3		再 診 料	20	
	/	<u>E</u>	生 P Z (乳歯冠)	110	
3 日目	/		imp BT (25+14)	39	
	12/6		再 診 料	20	
	/	<u>E</u>	乳 歯 冠 set (グセ) (265+13)	278	
			合 計	1,147点	

社保委員会だより

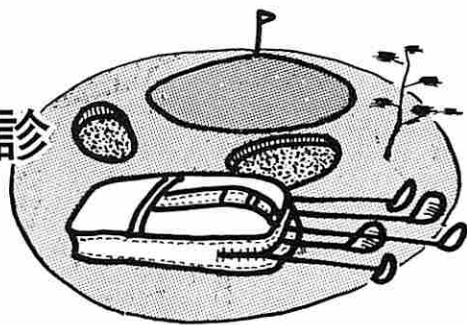
- 初診時における、心障者加算「㊦」を算定した場合の理由を記載して下さい。
- 老人保健分における義歯指導料を算定した

場合の算定日を記載して下さい。

- 有床義歯の歯数不一致の誤りをなくしましょう。



本日休診



さかなとり

鈴木勝志

魚つり、投網、私のさかなとりは敗戦直後に迄さかのぼります。あえてさかなとりと書きました事は我家では川魚が唯一のタンパク源でありましたし、魚をとる方法も種々様々であったからであります。私に現在まで続いている魚とりの方法は、竿釣りと投網です。関東に流れる利根川を中心にその支流から田んぼに引く水路に至るまで私にとってどこでも漁場であったと記憶しています。とれる魚の種類たるや、しじみ・ばかがい・たにし・どじょう・鮎・金雑子（鮎の子で2、3センチで金色できれいでした）川蟹・かまつか・ハエ（オイカワ）・赤っ腹（オイカワの雄）・鯉・らいぎょ（台湾どじょう）・鯰、そして鮎・

山女魚・岩魚・いだ・うなぎ等です。

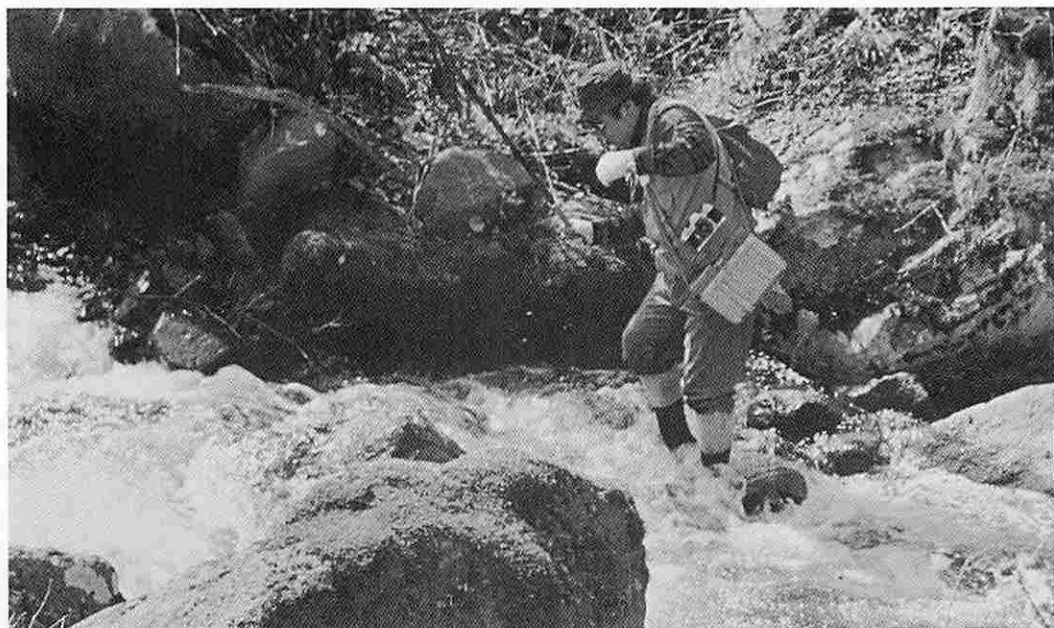
夏は増水した本流より支流へ支流へと澄んだ水を求めて黒く濁った水の中を魚達は上って来ます。田植えが済んで4、50センチに育った稲の田には水を満々と湛え、夜ともなると月光に美しかった事も覚えています。箒一つとカンテラ一つを持って稲の間でじーっと寝ている魚（特に鮎と鯉）を上から箒でおさえてつかまえる事が出来ました。なかでも田んぼへの水路に一晩待ちかごをしかけておけば小さな小さな金雑子が直径20センチぐらいのざるいっぱいとれました。日が暮れて防風材の杉の林に傾くころ、待ちかごを上げに田に行き母達はうどんを打っててんぷらの用意をし、私の持ち帰った今日の獲物を、かき揚げにして食した思い出、この世の中にこんなうまいものがあったのかと一人うれしくなって下を向く事が出来なくなる程食べた幸せは今も脳裡に焼きついてはなれません。二つぐらいしか持っていない金色の袖釣で糸に馬のシッポをいただいてのべ竿を自作して、浮き



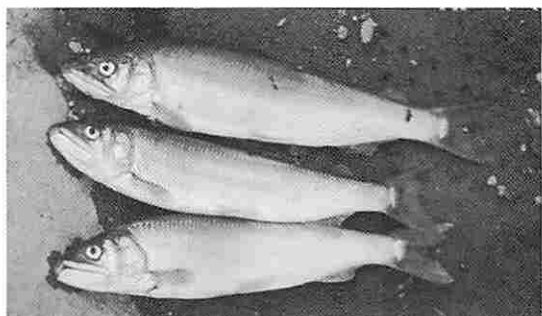
を作って一尺もある鯉を釣り上げたときの感激、すい込みじかけで鮎を3つづつも上げた思い出。投網で鯿を50匹もかぶせて川にとび込んだこと。シジミを取っている間に馬に一足先に家に帰られてしまってあわてた事、沼上のにわか雨で舟が沈没してしまった事、蛇が冬眠をしている木のかぶの上に半日座って冷や汗を流したこと、寒鯉をねらって12月に網といっしょに川にはまった事、書き綴るなら私にとってまるで昨日の事のように思い出されます。最近の私の環境もなんとなく多忙で仲々ゴルフに釣りにとっても時間が取れず残念ではありますが、閑が取れば田んぼの真中で釣り糸をたれる事にしています。ひばりが鳴く頃、近くでこじゅ鶏がチョットコイチョットコイと鳴きます。夏は牛蛙がボーボーと話しかけて来ます。麦の穂が出そろった6月、その年生れのハエは約6センチぐらいに成長します。食べ頃です。8月も過ぎて段

段と形が10センチ前後でそろいます。たくさん釣れてあと始末が大変な時期です。なんといっても鮎は川魚では王様でしょう。1年生の魚で水清く速く、底には石を多く配し水苔が良くつき川は上流にしか住みません。鮎を最も多く取りたいなら時間は夜ですし、漁法は投網でしょう。

川の状態を昼のうちに観察して置く必要があります。先ず石を拾い上げ鮎が苔を食っている様子を知るべきです。石にマッチ棒でひっかいたようなあとが多くついているはずです。鮎は生き餌は食べないし、縄張りがあるからです。もちろん活発に行動している昼でも取る事は出来ますが、投網ならやはり静かにしている夜の方が良くとれるでしょう。食し方はもう皆さん誰でも良く御存知だと思いますので、ここではあえてふれない事にします。夏川魚の代表選手で川の上下流で云うならば河口から中上流にかけてオイカワが住んでい



ます。中上流では鮎でしょう、底が砂地なら
カマツカがいます。さらに上で山女魚、もっ
と上で岩魚です。しかし食べたらやはり天然
物の鮎でしょう。時々思います養殖の鮎が出
来るなら、もっと改良して現在の形のまま鯉
のように大きく作り我々の食生活に寄与させ
てゆくなら、鮎のさしみもうまいし、たくさ
ん食べる事も出来ると思います。バイオテク
ノロジーという言葉をよく聞きます。熊本に
はテクノポリスも出来ます。そこで植物や魚
だけでなく牛等も一度に何頭も生ませるよう
になると思います。人間の蛋白質の為にとか
食物の為にとか云う事でその遺伝子にまで手
を加え、鮎が大きくなり川にあふれ、その食
物連鎖も当然の事ながらくずれ、その結果、
水も腐敗し、結局は川そのものの終りを見る
事になるのではないかと心配します。遺伝子
をいじって人間にあてはめるなら人類はやが
て滅びるでしょう。バイオテクも結構とは思
いますが、ちょっと間違えると大変な事にな
るような気がしてなりません。人間の出来得
る行動でやはり神を恐れぬ様な事だけは人間が
手をつけることなしに過ごして行かなくては



いけないと思います。やはり鮎は天然物の手
の平大（約5寸）のものが一番うまいのです
から。

こんな事を青空の下、麦わら帽子の中で1
人考え1日を過ごす、水と空と大地とそして
私と釣竿、静かです。



勉強部屋



初診時、問診表から考える

藤 波 剛

我々、歯科医院をおとずれる患者の治療には、単に投薬のみの治療はほとんどなく、多かれ少なかれ歯科医師による処置や手術によって治療に導かれるものである。

しかも最近では、複雑多岐な社会を背景にして、患者の訴えの面、現症の面でも非常に多彩となり、治療に際しても十分な配慮が必要になってきた。

その上、最近の高齢化社会を迎え、高齢者が歯科医院をおとずれる機会が、どんどん増加してきている。高齢者では、何らかの全身性の疾患を有している者が多く、簡単な歯科処置を行うにあたっては、患者の全身状態を把握しておかなければならない。

又、医学の進歩で、一見したところ健康者に見えるが、全身性の疾患をもった人が歯科治療におとずれることも多くなった。

それに、最近では呼吸器疾患やアレルギー性疾患も、増加傾向にあると言われている。

私の診療所では、歯科治療時の発事故やいろいろのトラブルを防ぐ意味でも、初診時

には必ず簡単ではあるが、問診表に患者自身の自筆により記入してもらうことにしている。

そこで、最近4ヶ月間の問診表から、アトランダムに300名を選んで統計をとり、熊本市で保険を中心に行っている、ごく一般的な開業歯科医院をおとずれる患者の健康状態をみてみた。

統計期間が短いのと、人数が少ない点で、きちんとした結果はでないかもしれないが、最近のおおよその傾向はわかると思われる。

我々歯科医は、全身性の疾患をもつ患者に対しては、特に観血処置時、麻酔時、投薬に対して注意を払わねばならない。

全身疾患を次の様に分けた。

1. 循環器疾患（心疾患・高血圧症・低血圧症）
2. 糖尿病
3. 血液疾患および出血性傾向患者
4. 肝・腎疾患
5. アレルギー性疾患（喘息・蕁麻疹・薬疹・アトピー性皮膚炎）

6. 妊娠

7. その他（呼吸器疾患・心因性問題がある 患者等）

患者・過去歯科治療中気分が悪くなった <表1> が、今回使用している問診表である。

〈表 1〉

診療上必要ですので下記の事項について記入して下さい。

初 診 日 昭和 年 月 日

氏 名 _____（男・女） 年 令 _____ 才

住 所 _____ TEL _____

(1) 手術や抜歯をした時、気分が悪くなったことがありますか。

ある。 ない。

(2) 今まで、病気（特に血圧、心臓、腎臓、肝臓、糖尿病、ぜん息、じん麻疹、リウマチ等）された事がある方、又現在病院におかかりでしたら、お書き下さい。

(3) 今まで、薬まけ（特に風邪薬、痛み止め、化膿止め）したことがありましたら、お書き下さい。

(4) 歯を抜いたり、手術を受けたり、けがをした際に出血の問題があったらお書き下さい。

(5) 医師や歯科医師に、身体について特に注意するようにいわれていること、又注意するようにいわれた薬があったらお書き下さい。

(6) 現在、妊娠中、又は生理中の方はお書き下さい。

治療について○印をつけて下さい。

イ、悪い歯は全部なおしたい。

ロ、痛みがある歯だけをなおしたい。

ハ、応急処置だけしてほしい。

今回の統計では、総計300名（男性119名、女性181名）である。

10歳単位で、年齢を分けている。

結果を〈表2、3、4〉に示す。

（あくまでも、患者自身が記入したものをそ

のまま整理している。）

70歳以上の患者で、20名は無歯顎やそれに近い欠損で、補綴希望であるが、その処置が可能な者の問診表はくわしくできてない場合もある。

（男性）

年 齢	0～10歳	10～20歳	20～30歳	30～40歳	40～50歳	50～60歳	60～70歳	70歳以上	合 計
人 数	20	15	21	19	16	8	7	13	119
循環器疾患					2	1	2	3	8
糖 尿 病								1	1
血 液 疾 患									
肝・腎疾患		1	1	2	1	1	1		7
アレルギー性疾患	3		1	3	1				8
そ の 他				1				2	3
計	3	1	2	6	4	2	3	6	27

（女性）

年 齢	0～10歳	10～20歳	20～30歳	30～40歳	40～50歳	50～60歳	60～70歳	70歳以上	合 計
人 数	30	28	35	20	19	19	15	15	181
循環器疾患			3	2	3	5	4	8	25
糖 尿 病									
血 液 疾 患									
肝・腎疾患						1	1		2
アレルギー性疾患	3	1	6	4	2	2	4	2	24
妊 娠			2						2
そ の 他			1	1	2		1		5
計	3	1	12	7	7	8	10	10	58

（総数）

年 齢	0～10歳	10～20歳	20～30歳	30～40歳	40～50歳	50～60歳	60～70歳	70歳以上	合 計
人 数	50	43	56	39	35	27	22	28	300
循環器疾患			3	2	5	6	6	11	33
糖 尿 病								1	1
血 液 疾 患									
肝・腎疾患		1	1	2	1	2	2		9
アレルギー性疾患	6	1	7	7	3	2	4	2	32
妊 娠			2						2
そ の 他			1	2	2		1	2	8
計	6	2	14	13	11	10	13	16	85

表に現せない問診表の結果を箇条書にすると、

○入院中の患者は6名である。特に歯科治療上、注意が必要な患者は、脳梗塞後、心臓弁膜症、重度肝疾患の3名であった。

○循環器疾患中、ほとんどが高血圧症である。その中で90mmHg→160mmHg以上の患者は3名である。高血圧症患者のほとんどが血圧コントロールをしている。

女性の中で、最高血圧90mmHg以下の低血圧症が3名である。

○アレルギー疾患の中では、ほとんどが風邪薬、鎮痛剤、ピリン疹による薬疹があったと記入しているものである。

抗生剤の中で、薬剤がはっきりしているのはペニシリン2名、ミノマイシン1名である。

○小児では、すべてアレルギー疾患で、薬疹・喘息・蕁麻疹・アトピー性皮膚炎である。

まとめ

問診表の統計結果より、歯科受診患者の3

名のうち1名は何らかの全身疾患を記入していた。

しかし、くわしく調べてみると、歯科処理を制限しなければならない患者はほとんどなかった。

しかし、歯科治療中に何かトラブルが起きれば、我々に責任がかかることを考えて、患者の全身状態を十分に知り、それに対応できるだけの態勢を整えておかなければならない。

問診表からみても、高齢になるにしたがって、全身的に問題をかかえている患者が多くなっているから、高齢者の歯科治療は十分に全身状態を管理しながら、処置を行う必要がある。

最後に、我々歯科医師は、現代のさまざまな問題をかかえている。患者の治療にあたり十分それに対応できるようになるとともに、全身的疾患のある患者については、内科医を始め、医師との連絡を密にして、指示をあおぐことも必要であろう。

小学校におけるブラッシング指導

中 川 順 一

去る10月16日水曜日から3日間にわたって、市内の小学校を回って、毎年恒例のブラッシング指導が行われました。

前日15日に福岡のライオンから2人の衛生士の方が来熊され、その夜学校歯科委員会全員と専務理事の鈴木勝志先生を交えて“お見知り会”が行われました。

次の日程で各小学校を分担して巡回しました。

日程表は下記の通りです。

日程表

項 時 月日	午 前		午 後
	9:00～ 10:00	10:30～ 11:30	2:00～ 2:50
10月16日 (水)	清水小学校 1、2、3年 約600名 齊藤	健軍小学校 1、2年 約360名 合沢	田迎小学校 1、2年 約230名 柿原
10月17日 (木)	御幸小学校 1、2、3年 約420名 松本	川尻小学校 1～6年 約830名 三宮	力合小学校 1、2、3年 約360名 中川
10月18日 (金)	砂取小学校 1、2年 約220名 緒方	日吉小学校 1、2、3年 約350名 藤波	画図小学校 1、2年 約260名 太田

先ず校長先生にお会いして、その学校の“歯”に対する考え方、指導状況等をお聞きした後、体育館に生徒を集めて、最初に歯の重要性を分かってもらう為に“サル”の話を例にとって話します。子供達は皆“歯の重要性”とい

うのは分っているらしく元気な答えが返ってきます。それからハブラシの選び方、買い替えの時期などの注意を受け、ハブラシの握り方、動かし方等を教えた後に、レコードに合わせてハミガキ体操を行いました。ブラッシングの方法は、2、3年前からローリング法ではなくスクラブ法に替わりました。ローリング法は子供達には難しいということで比較的簡単なスクラブ法に替ったものです。

小学校によっては非常に熱心な先生もいらっしゃるっていろんな質問が返って来ます。全体的に見ても歯に対する、特にブラッシングに対する関心は強い様です。もっとたくさんの学校を回れると良いのですが時間のないのが残念です。



税 務 説 明 会

医療管理委員会

去る1月25日(土)午後2時半より、歯科医師会館3階ホールに於いて、熊本市医療管理委員会主催による税務説明会が行われた。出席者は約100人で、先生御自身や奥様など、多様な顔ぶれであった。税務署からは、東西両税務署から各々二人ずつ出席され、西税務署の統括国税調査官の方が、確定申告のやり方・注意点などを詳しく説明された。その後、税務に対する質疑応答に入り、本会会員より種々の質問が出たが、それ等を以下簡単に記します。



質問1

医院で自家消費した場合、例えば、親戚や身内の治療費を安く、又はただにした場合、その処理はどうなるのか。

答1 その医院の従業員の場合は、福利厚生費として認められるが、身内や親戚の場合は、経費として認められない。

質問2

医院と自宅が併設している場合、院長の車の経費はどの程度認められるのか。又、自宅から自分の診療所へ、自分の車で通勤する場合はどうか。

答2 医院と自宅が併設している場合は、ほとんど経費としては認められない。又、通勤する場合は、ほぼ全額経費として認められる。

質問3

医院で寄付する場合でも、経費として認められる場合があるそうだが、どの様な場合か。

答3 その医院の地区の運動会や盆踊り大会などに対する寄付は、経費として認められないが、神社などへの寄付で医院の運営上多額の寄付をせざるを得ない場合などではその寄付は、経費として認められる事もある。

(徳永俊英)



新樹会 総会・忘年会

第10代議長に千場敏明先生 選ばれる

山 村 定 信

さる12月21日(土)午後5時半より同ホテルに於いて、30数名の会員を得て、総会が開かれた。

伊藤友己幹事の司会で始まり、合沢議長より、この1年の任務期間を回顧しての反省と会員に対するねぎらいのことばがあり、山村による会務報告、児玉睦雄先生から会計報告の後、杉野泰彦先生より会計監査が無事済んだことの報告がなされた。

最後に役員会推薦の千場敏明先生が、満場一致で第10代議長に選出された。

千場敏明次期議長より来期の会運営に対する力強い決意表明があり、総会は終了した。

引き続き同ホテルにて、午後6時より忘年会に移った。元議長で会の命名者でもある来賓の元島博信先生の会に対する強い愛着と、我々会員に対する期待のあいさつがあり、印象的であった。

千場次期議長の乾杯の音頭で宴は始まり、時が経つにつれ会は盛り上がり、会員の親睦も一層深まり楽しい会となった。

田中聖一前議長による威勢のよい3本じめ、杉野泰彦監事の閉会の辞でお開きとなった。

なお来年(昭和61年)は新樹会設立10周年になります。全会員の一層の御協力御参加の程、宜しくお願い申し上げます。

昭和61年 新樹会役員

議 長 千 場 敏 昭

副 議 長 西 本 信 也

幹 事 増 田 了

副 幹 事 小 田 和 人 伊 藤 友 己

企 画 中 山 精 文 河 端 憲 司 中 村 進

親 睦 河 野 哲 郎 新 村 健 三 市 原 誓 志

会 場 西 銘 達 生 森 尾 謙 二 郎

出席連絡 古 賀 明 谷 川 貞 男 江 藤 寛 文

資料統計 緒 方 孝 則 野 田 和 夫

記 録 山 村 定 信 木 庭 健 雄 井 尾 治 雄

広 報 原 賀 滋 久 牧 正 仁 遠 山 啓 介

時局対策 松 本 真 典 片 山 幸 博 稲 葉 逸 郎

渉 外 矢 毛 石 豊 中 川 順 一 大 森 秀 則

会 計 徳 永 俊 英 林 田 裕 一 森 隆 文

監 事 赤 城 公 徳

新入会員紹介



1. 氏 名 こう だ まさ ひこ 江 田 雅 彦

2. 住 所

(自 宅) 熊本市刈草町1390 サンシャインハイツ505

TEL 358-2177

(診療所) 熊本市近見町2440-3

TEL 322-3125

3. 生年月日 S.26.10.27生

4. 趣 味 ゴルフ

5. 好きな言葉 不言実行

6. 経 歴 S.56.3 九州大学歯学部卒業

S.56.7 九州大学歯学部附属病院勤務

S.58.3 同上退職

S.58.5 曲野歯科開院

S.60.3 同上閉院

S.60.4 荒木歯科勤務

S.60.8 同上退職

S.60.10 江田歯科開業 現在に至る

7. 家族構成 (氏名・生年月日・続柄)

江 田 良 子 (S.25.7.20生 妻)

江 田 佳 織 (S.55.9.4 生 長女)

江 田 敦 (S.59.9.30生 長男)



1. 氏 名 小佐井 貴 裕

2. 住 所

(自 宅) 鹿本郡植木町植木17

(診療所) 熊本市清水町山室534

熊本機能病院

TEL 272-0154

TEL 345-8111

3. 生年月日 S.17.2.15生

4. 趣 味 ゴルフ

5. 好きな言葉 鶏口となれど牛後となるなかれ

「嫌いな言葉」 権力

6. 経 歴 S.45 日本大学歯学部卒業

S.50.10 「小佐井歯科医院」開設(於 横浜市)

S.56 熊本機能病院勤務

7. 家族構成(氏名・生年月日・続柄)

小佐井 純 子(S.28.2.1生 妻)

小佐井 仁(S.56.10.14生 長男)



1. 氏 名 鳥 取 孝 治

2. 住 所

(自 宅) 熊本県飽託郡北部町鶴羽田652の16

(診療所) 同 上

TEL 344-5150

TEL 345-3939

3. 生年月日 S.33.7.31生

4. 趣 味 スポーツ全般

5. 好きな言葉

6. 経 歴

7. 家族構成(氏名・生年月日・続柄)

鳥 取 多恵子(S.36.9.13生 妻)

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
9 月26日	市代議員会 各委員会報告
10月22日	九州八市連絡協議会出席の件について 各委員会報告
11月21日	九州八市歯科医師会連絡協議会報告 各委員会報告
12月18日	関口恵造後援会について 各委員会報告
61年 1 月25日	各委員会報告

口腔衛生委員会

月 日	協 議 題
10月25日	口腔衛生に関して
11月 8 日	市保健所託麻支所に於いて 無料検診と歯の健康相談について
12月11日	健康展担当者決定に関する件
61年 1 月29日	健康展出席打合せに関する件

医療管理委員会

月 日	協 議 題
10月30日	アンケート集計について
11月11日	カレンダー作製の件
11月29日	診療時間、広告、開業、入会 医院名称等についての検討
12月25日	アンケート集計、理事会報告に関する件
61年 1 月30日	日専連加盟、講演会の講師の件について アンケート調査の集計

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
10月12日	熊歯会報第53号編集
10月25日	第53号校正 第54号会報掲載記事内容検討について
12月 5 日	第54号会誌の原稿について
12月19日	会誌54号原稿編集

厚生委員会

月 日	協 議 題
10月18日	高齢者近況報告のアンケート内容の検討 新年パーティに於いて、高齢者の表彰について
11月19日	高齢者近況調査について
12月16日	新年パーティについて
61年 1 月10日	新年パーティの打ち合わせについて
1 月16日	新年パーティ 打合わせ
1 月31日	新年パーティの反省について

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
11月28日	アンケート調査について
61年 1 月 7 日	3 月の講演会について
1 月23日	救急蘇生のポスターの件

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
9 月20日	昭和60年度社保研修会質疑回答について
10月17日	疑義解釈の検討
11月26日	社保研修会質疑回答の検討
61年 1 月21日	社保委員会予算検討 学術委員会よりの保険説明依頼の件について

編集後記

梅の花もほころび、ようやく春めいてまいりました。

今年は選挙の年です。

全員一致団結して、我々の代表である関口恵造先生をトップ
登載で再度国会へ送ろうではありませんか。

熊本市歯科医師会会誌

第 54 号

発行日 昭和61年3月5日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

発行責任者 川崎正士

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL (353) 1291